

1. 今年の冬の気温と樹木への影響？



*上記の写真左は3月3日、わが家のベランダから、右は同じ場所から昨年2月19日に撮影した借景。

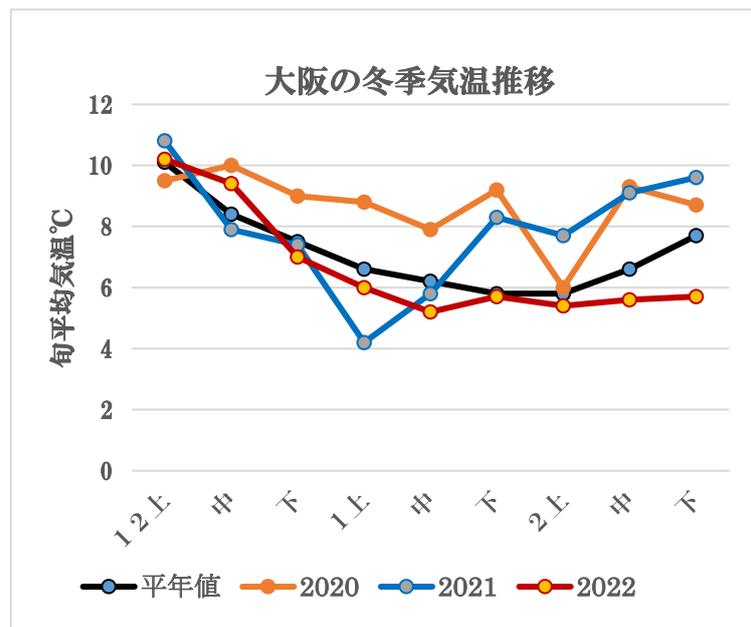


*上の左の画像は近くのお宅の3月1日に撮影したミモザ。昨年2月17日には右のように満開でした。

冒頭、サクラではなく、他の花を取り上げました。向かいのお宅の庭、樹が切られたわけではなく、枝には蕾が見られ開花が遅れているだけです。

遅れ勝ちなのは❀の開花に限ったことではありません。冬の終わりから初春に咲く花共通のようです。

右に大阪の冬期のここ3年間の旬平均気温のグラフを示しました。全体的な傾向は前報で示した、気象庁の西日本地域3か月間気温経過と同様な傾向であり、2020年は暖冬、2021年は1月中旬以降暖冬、今年は平年より低目、特に2月も低温継続となった点



が大きく違います。因みにこの3ヶ月間の「積算温度」を計算してみると・・・

大阪では、平年では、647 (°C・Day)、2020年 784、2021年 708、2022年 602。また2022年同じ期間の神戸の値は609でほぼ大阪と同じ、京都は483であり阪神より寒いという値になります。絶対値は別にして、この3年間の早咲きの樹木の開花の傾向とは一致する値であると思われます。冒頭の2例では昨年に比べ10日以上も開花が遅れているのが現状です。

・また、大阪気象台の発表した今年の「梅（白梅）」の開花は2月26日で、平年に比べ13日、昨年に比べて11日遅くなっています。さらに、昨年2月19日に開花を発表した京都では3月3日現在開花宣言されていない状況です。少なくとも樹木は、この期の気温に敏感に反応しているようです。

勿論、今後の樹木の開花や展葉には3月以降の気温の影響も大きいので見守って行く必要があります。

・今後の気象に関しては、2月25日に気象庁から向こう3ヶ月間の天気予報が発表されています。この向こう3ヶ月の近畿地方の天気については

3月：近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温 平年より高い確率30%、平年並み40%、低い30% 降水量：平年並み。

4月：近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温 平年より高い確率30%、平年並み40%、低い30% 降水量：平年並み。

5月：天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温 平年より高い確率40%、平年並み40%、低い20% 降水量：平年並み。

と発表されており、少なくとも気象庁は平年並みとしており、3月の気温の高かった一昨年、昨年とは違い寒く感じるのではないのでしょうか。

2. サクラの開花予報

気象庁が🌸の開花予想日の発表を止めて以降、各気象専門業者から独自の開花予報を発表して来ていることは、本シリーズでも再三取り上げてきています。前報でも一般公開している日本気象協会やウエザオニュース社の発表を取り上げて来ました。3月3日時点での予想は以下通りです。

今年のさくら開花は、平年並みのところが多い見込みですが、北海道は早い予想です。前回2/24の予想と比べて、西日本を中心に遅くなっています。3月上旬の予想気温がやや下がり、中旬も高くないとみられるためです。今年の冬は、11月から12月前半まではなかなか寒気が流れ込みませんでした。12月後半と1月は寒くなっています。このため、休眠打破はほぼ平年並みと考えられます。

この先3月にかけての気温は、平年並みかやや高めと予想されます。休眠打破も花芽の成長に必要な気温も、どちらも平年並みに近いとみられるため、開花もだいたい平年並みとなりそうです。北海道は気温が高い予想で、早い開花が見込まれます。(日本気象・3月3日・原文転記)

※今シーズンから平年値が新しいものに更新され、昨年までのものよりも2日程度早くなっている所が多くなっています。因みに昨年までの開花・満開日の平年値(1981~2010年)は大阪(3/28、4/5) 京都(3/28、4/5)、神戸(3/28、4/5)、奈良(3/29、4/5) 彦根(4/2、4/9) 和歌山(3/26、4/4)であり、いずれも1~2日はやくなっています。

近畿 6 府県のサクラの開花予報(3/3現在)

地域	開花日				満開日		
	新平年値	日本気象	ウエザオ・	昨年	新平年値	ウエザオ・	昨年
大阪	3月27日	3月26日	3月27日	3月19日	4月4日	4月2日	3月28日
京都	3月26日	3月26日	3月27日	3月16日	4月4日	4月2日	3月26日
神戸	3月27日	3月27日	3月28日	3月24日	4月5日	4月3日	3月30日
奈良	3月28日	3月27日	3月29日	3月21日	4月4日	4月3日	3月30日
彦根	4月1日	3月30日	4月1日	3月22日	4月8日	4月4日	3月30日
和歌山	3月24日	3月24日	3月26日	3月18日	4月3日	3月31日	3月27日

3. 近所のサクラの開花状況

3-1. カワズザクラ

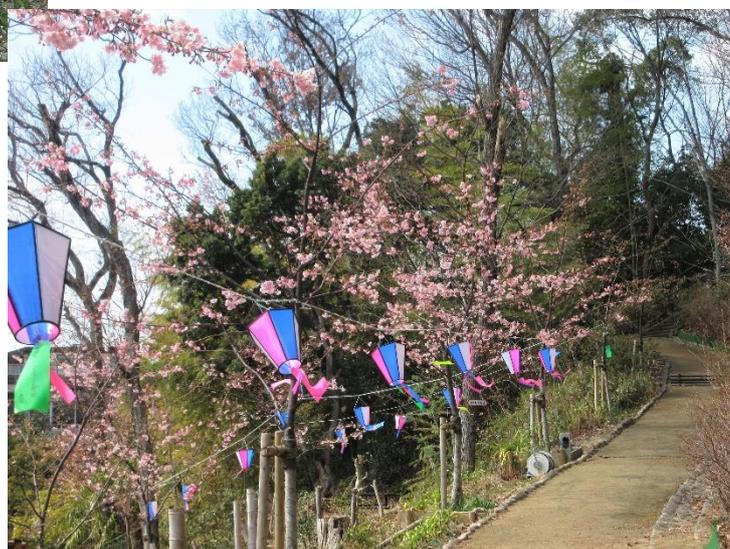


前報で記述したように、今年も近くの芦屋市の東山公園に植栽されている約 30 本の樹と宮川沿いのマンションの庭に植えられている 1 本の樹をウォッチングして来ています。この内、東山公園の南斜面に最近植えられている若木 10 本ほどの内、3 本は 2 月 11 日には数輪の花を付け開花と判断しました。その後の観察で 2 月 20 日には 1～2 分咲きの状況になっていました。

一方、同じ公園内で昨年 2 月 11 日に開花の見られた同じ成木では、2 月の 20 日に数輪の花をつけ「開花宣言」としました。この🌸は、3 月 3 日時点では左の写真のようでやっと 1 分～2 分咲き程度になりました。2 月後半も比較的寒い日が続いたので開花はあまり進んでいないようです。

同じ公園の南斜面の若木は？右の写真のように 4～5 分咲きとなり、附近の人々の手で飾り付けがなされ、「花まつり」ムードとなっています。

・同じように昨年から、観察を始めた宮川沿いのマンションの庭の成木では、既報のように 2 月の 22 日には冬芽が開いて蕾が見られるようになっていましたが、その後の気温が低かった為か、なかなか開花には至らず、2 月 28 日に 1, 2 輪、3 月 1 日に数輪の花が



見られるようになり、やっと「開花宣言」となりました。昨年は2月14日が開花日と記録されており、今年2週間ほど遅れたこととなります。

前述の、今年の冬の気温の12月からの積算値が昨年比で1000℃・Dayの差があったこと、2月の日平均気温が6～7℃であることを考慮すると開花の遅れは妥当なものなのかも。

*なお、2, 3の方からも本種の開花のお報せを頂いています。

3-2. ヒカンザクラ

前報では本種をさくらの「季節観測」の標準木としている奄美・沖縄地区での開花と満開日について報告した。私も、一昨年に芦屋川河畔の公園に本種が5本ほど植栽されているのを知りのウオッチングして来ている。記録では、一昨年の開花は2月10日頃、昨年は2月21日でした。今年はこの種も例にもれず蕾の成長が遅々として進まず、ようやく3月3日朝には2, 3輪の開花を見ました。夕刻までには5, 6輪は開くでしょう。一応、本日を開花日としておきます。開花といっても、本種は写真のように蕾を下向きに付け、平開することがなく、筒状の花の先を開き、オシベがのぞく程度ですので「花」としての見栄えはもう一つです。



3-3. オカメザクラ

続けて来ている近所歩きの途上さるお宅の前庭で、この季節でも花が見られる秋咲きのジュウガツザクラやコクブザクラとは明らかに違い、この季節になって初めて開花する「サクラ」の仲間と思われる樹木に出会いました。数名の方に、写真を配信して問い合わせたところ、「オカメザクラ」ではないかとの返信を頂きました。

*早速、ネットで調べて見ると、

日本産ではなく、イギリスの桜研究者により、日本のカンヒザクラとマメザクラを交配して作出、これが逆輸入されたもので、

- ・ 淡い紅色の一重咲き。花が下を向いているのが特徴である。早咲きで花期は2月下旬から3月上旬ごろ。地域によるがソメイヨシノより早くに開花する。
- ・ 花は小さく、直径は1～1.5センチほど。本種を見慣れない人が、「モモかな？ウメかな？アンズかな？」というほど、サクラには見えない。
- ・ 花の基部の「萼」と呼ばれる部分はカンヒザクラ



と同様に紅色が濃い。

などの特徴は全く一致することがわかりました。その後、芦屋市内の別の 2 ヶ所でも同様な桜が見つかりました。花は 2 月 18 日には 5 分咲き程度で河津桜より早く昨年度は「ジュウガツザクラ」と誤認識していたようです。

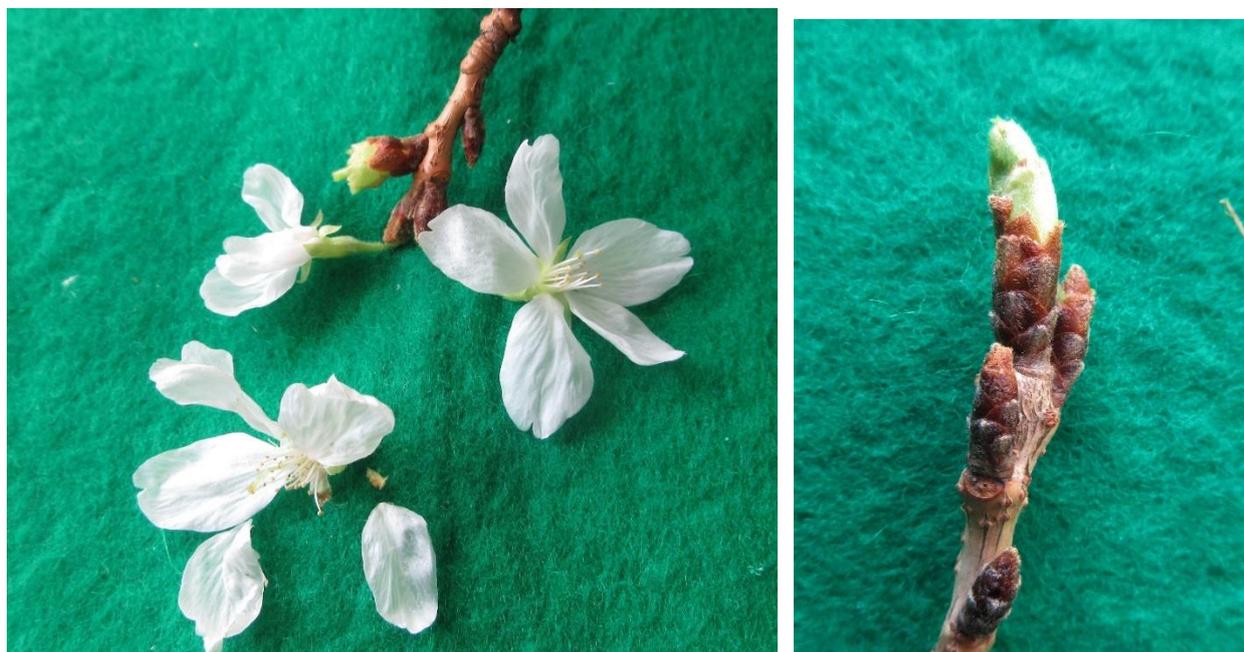
4. ソメイヨシノの「切り枝」加温テスト

前報で、今年もソメイヨシノの「休眠打破」の状況を見る目的で、枝を採取して来て花瓶に生けての室温放置テストを行ってきていること、2 月 5 日採取の枝が、2 月 23 日に一つの芽から 1 輪花を開花したことを報告しました。この試験を 2 月 27 日まで継続しました。この結果は、23 日には 1 輪咲いた「芽」からは更に 2 輪の花が咲き、1 ヶ所から 3 個の花の開花を見ました。(写真参照) 他の花芽には変化がなく、展開し始めたのは花芽の動かなかった短枝先端の葉芽でした。この枝については、試験を中断して現在昼間は冷蔵庫・夜間は屋外放置と再び低温下におき「休眠打破」が進むのか否かを観る予定でいます。

なお、2 月 16 日に短枝 2 本からなる小枝を生けていますが、今日現在 2 個の花芽からそれぞれ 3 個の蕾が覗いて来ています。

*昨年、一昨年 of 切り枝テストでは、花芽が開いても付く花は 1 輪でしたが、今年は 3 輪。変えたのは生ける水に「砂糖」を加えたこと。この効果でしょうか？

なお、3 月 1 日に枝 2 本を採取、生けて室内放置テストを継続しています。



*1 個の花芽から 3 個の花が開花しました。短いですが柄も見られます。この枝では、葉芽は展開していません。右は花芽が展開しなかった短枝、頂芽の葉芽の展開が見られます。

*樹木の生き様は正直、気温如何であることを痛感しました。今年 of サクラの開花は「休眠打破」が順調ではほぼ平年並みとの予想。ただし、3 月の気温次第でしょうが・・・。

皆さまからの情報、ご意見、ご感想、ご質問など大いに歓迎。お便りお寄せ下さい。 以上